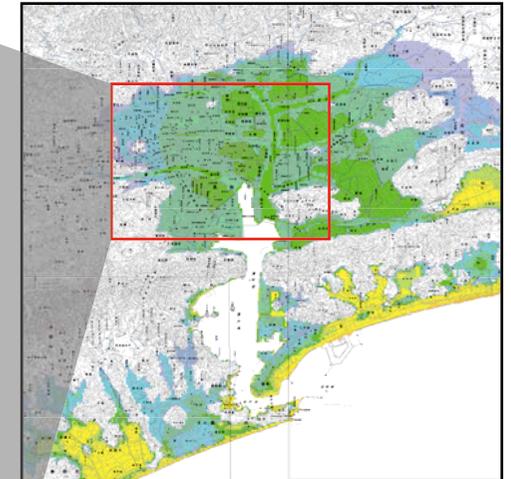
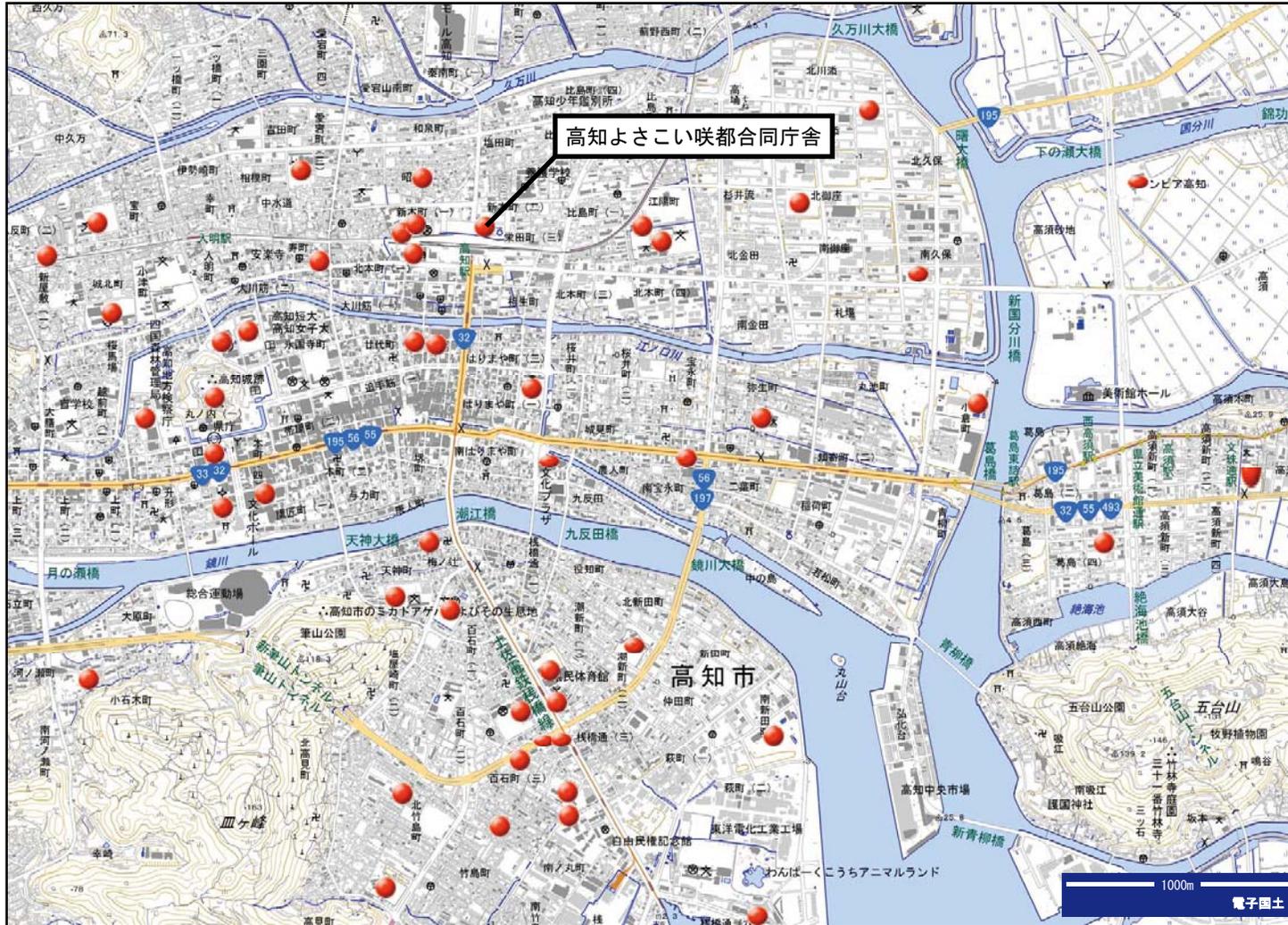


津波避難ビルとして指定されている施設（高知市と須崎市の例）

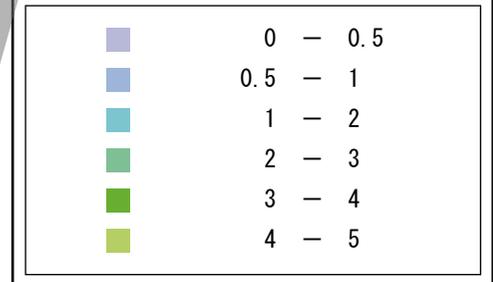
	高知よさこい咲都合同庁舎	須崎第2地方合同庁舎
所在地	高知市	須崎市
構造・階数	鉄骨造(一部SRC造)10階建	鉄筋コンクリート造4階建
延べ床面積	約9,000㎡	約3,600㎡
屋外階段の有無	無	有
避難場所	4～9階廊下、7階食堂	屋上
入居官署	財務事務所、税務署、法務局、 自衛隊地方協力本部	税務署、税関出張所、法務支 局、検察支部・区検
津波浸水予測※	2～3m	5～10m
指定日	H24. 3. 21	H16. 3(完成)
庁舎管理等	避難のための庁舎使用等に関する 協定を締結	管理者不在の場合は、消防署が 解錠できる。
その他	「高知市津波避難ビルガイドライン」 に基づく指定	基本設計段階から、市が中心となる 「街づくり委員会」と協議、打ち 合わせを行いながら計画を行った。

※「南海トラフの巨大地震による津波浸水予測について(高知県版第一弾)」(H24.5.10)による。

高知よさこい咲都合同庁舎の周辺状況



最大浸水深 (m)



※最大クラスの津波断層モデルによる津波
浸水予測図（高知市）を加工したもの
S=1:200000

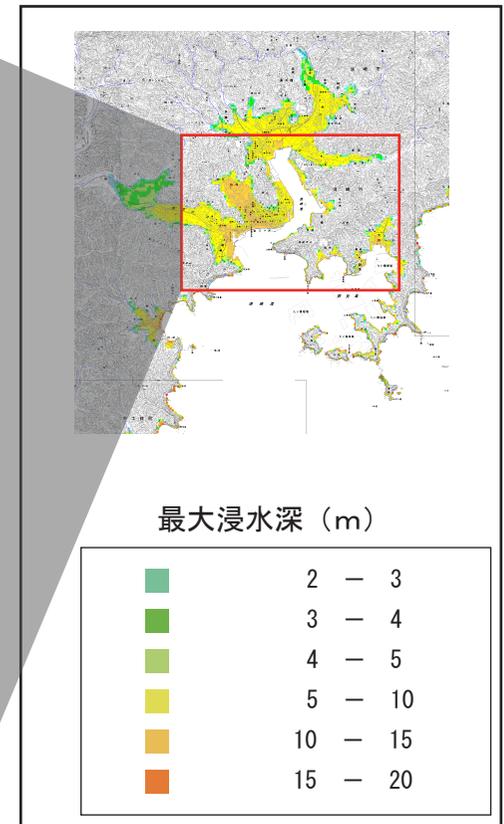
出典：【高知県版第1弾】南海トラフの巨大
地震による津波浸水予測について

※国土院「地理院マップシート」を用いて、津波避難ビル（注1）をプロットしたもの S=1:30000

注1）高知市作成の「津波避難ビル一覧（H23. 4. 26 現在）」より

高知市の中心市街地においては、高台までの距離が比較的長く、避難の対象となる者の数も多いことから津波避難ビルに対するニーズが高いと考えられる。

須崎第2地方合同庁舎の周辺状況



※最大クラスの津波断層モデルによる津波浸水予測図（須崎市）を加工したもの
 S=1:200000
 出典：【高知県版第1弾】南海トラフの巨大地震による津波浸水予測について

※国土地理院「地理院マップシート」を用いて、津波避難ビル（注1）（注2）をプロットしたもの S=1:30000

注1）須崎市が現時点で指定している避難場所のうちから「津波避難ビル」と思われるものを抽出。

注2）須崎市においては、現在、指定避難場所の見直しが進められている。

須崎市の市街地においては、高台までの距離が比較的短いものの、災害時要援護者等の円滑かつ迅速な避難を確保するためにも津波避難ビルに対するニーズが高いと考えられる。